

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	芸術 A
科目基礎情報					
科目番号	0007	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目	対象学年	1		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	検定教科書「美術1」(光村図書出版)				
担当教員	竹原 豊				
到達目標					
1 モデル(対象)をよく見て客観的に描写する 2 感動や思考を交えて対象を主観的に表現する 3 表現の内容や方法に意図・工夫・創作を込める 4 描画材(物質的特性)や描画行為(身体性)を考察する 5 空想やイメージを表現 画面の構成 6 色彩と形態と空間構成による表現 抽象的な表現 7 柔軟で豊かな発想や感性や表現, 創作欲を育む					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	モデル(対象)の観察が鋭くて客観的な巧みな描写ができる	モデル(対象)を見て, 客観的に描写しようとする	モデル(対象)をよく見ず, 見える通りに描こうとしない, 描けない		
評価項目2	感動や深い思考をこめて対象を主観的に表現性豊かに表現できる	感動や思考を交えて対象を主観的に表現しようと工夫する	感動や思考を生めず, 交えず, 表現を独自に工夫しようとする		
評価項目3	表現の内容や方法に, 明確な意図, 工夫, 創作を込めることができる	表現の内容や方法に, 意図, 工夫, 創作を込めようとする	表現の内容や方法に, 意図, 工夫, 創作を込めようとする		
評価項目4	描画材(物質的特性)や描画行為(身体性)を考察し, 発見した内容を活かして創作することができる	描画材(物質的特性)や描画行為(身体性)を考察し, 自分の創作に活かそうと努力できる	描画材(物質的特性)や描画行為(身体性)を考察工夫せず, 作品や表現に応用しようとする		
評価項目5	空想やイメージを豊かに描出表現し, 自由に, 大胆に, 工夫した画面の構成を生み出せる	空想やイメージを着想し, 自由に描いて画面の構成を工夫しよう努力できる	空想やイメージを発想できず, 描けず, 自由に画面構成ができない		
評価項目6	具象的なモデルの描写ではなく, 色彩と形態と構成を自由に操って主観的に抽象的な表現ができる	具象的にモデルを描写せず, 色彩と形態と空間構成による表現を工夫し, 抽象的に表現しようとする	具象的にモデルを描いて, 色彩, 形態, 構成の自由な工夫や抽象的な表現が理解できない		
評価項目7	柔軟で豊かな発想や感性や表現, 創作欲を身につけ, 発揮する	新鮮で個性的な発想や感性, 自分を表現することへの意欲がある。	発想や表現が消極的で工夫がなく, 表現意欲がない		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (E)					
教育方法等					
概要	描写・表現・イメージ構想・色彩・構成・美・自分表現・創造など, 美術造形表現の基礎を学習。				
授業の進め方・方法	【授業方法】 テーマの説明, 参照作品(図版)解説紹介やヒントの提示, 試作習作・作品制作等により行う。 【学習方法】 テーマを理解, ヒントを取り込んで表現意欲と構想を生む。主体的, 創造的な作品の制作を行う。				
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 作品やプランに関し 1. 課題の理解度と作品制作意欲, 工夫や努力 (40%) 2. 表現力, 発想・構想を生む力と努力, 制作作業の完成度 (30%) 3. 制作造形の技能, 絵画空間構成力, 色彩の感性 (30%) を上述の到達目標に基づき評価 【備考】 太芯のB~2B鉛筆(シャープペンシル)の所有持参(購入)を求める。画用紙など画材の費用負担を求める。 【教員の連絡先】 研究室 B棟2階 非常勤講師室 (B-206) 内線電話 8125				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明 モデルのかたちをよく見て鉛筆で描く	1	
		2週	モデルの色・陰影・量感・質感・実在感・親近感などを描き出す	1, 2	
		3週	モデルに関する深い感動や強い印象を誇張表現 表現のための変形工夫(デフォルメ)	1, 2, 3	
		4週	色の基礎知識ガイダンス 鉛筆による黒のトーン(濃淡)をつくる	1, 4	

2ndQ	5週	色の視覚的印象や情感イメージの表現 色彩を構成する 画面を分割し、色彩（鉛筆の黒色のトーン）を構成する	4, 5, 6
	6週	色の視覚的印象や情感イメージの表現 色彩を構成する 画面を分割し、色彩（鉛筆の黒色のトーン）を構成する	4, 5, 6
	7週	空想・幻想を描く	1, 2, 3, 5
	8週	空想・幻想を描く	1, 2, 3, 5
	9週	鉛筆自体の表現力、その描線・色の濃淡などの魅力を探る。	4, 6, 7
	10週	鉛筆によるドローイング（＝描画作業絵画）	4, 5, 6, 7
	11週	教科書の全図版作品より「名作」を選択し、簡単描写する	1, 2, 7
	12週	人物（＝制作に熱中する隣席学生）を描く	1, 2, 7
	13週	自分のこと（＝今 高専生生活 関心事 時代 夢など）を複合的に描いて構成、表現する	1, 2, 3, 5, 6, 7
	14週	自分のこと（＝今 高専生生活 関心事 時代 夢など）を複合的に描いて構成、表現する	1, 2, 3, 5, 6, 7
	15週	自分のこと（＝今 高専生生活 関心事 時代 夢など）を複合的に描いて構成、表現する	1, 2, 3, 5, 6, 7
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	100	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0